

RC造ならではのモダン空間に こだわりの白で洗練された表情をプラス



モダンなホワイト空間に、20世紀デザインの巨匠ミース・ファン・デル・ローエのMRチェアが美しく映えるダイニング。LDKは床暖房を完備



「仕事が忙しくて、せっかくの新居の居心地を楽しむのはまだまだこれから」と笑う黒澤さんご夫妻



コンクリート打ち放しのモダンな外観。エントランスは将来ベビーカーや車椅子が通ることも考慮し、パリアフリーのスロープに

デザインと機能を 両立させて暮らしあわせ

スタイリッシュなコンクリート打ち放しの外観がひと際目をひく黒澤さんのお宅。仕事を通じてカツキの杉崎社長と知り合った奥さまが、その仕事に対する姿勢に共感し、いつか家を建ててもらうのが夢だったといいます。一方ご主人はコンクリート打ち放しの冷たい印象が気になっていたとも。

「でも『それはコンクリート『打ち放し』ではなく、『やりつ放し』だから』という社長の話しを聞いて、なるほど!と。ハウスメーカーもいろいろ見比べた結果、この金額ならRCでいいこうと決断しました」

ご主人が懸念していた壁面はコンクリートの打ち肌そのままではなく、撥水剤のクリア塗装を二重に施し、きちんと化粧した結果、洗練された上品な表情に。内装も打ち放しはアクセント程度に抑え、クロス張りで温かみをプラス。白にこだわって、床はシンプルなホモジニアスタイルを採用。RC造ならではの大きな開口部からはたっぷりと日差しが入り込みます。

「住んでみて、あらためてこれまで抱いていたRCの冷たい印象が払拭されました。冬はとにかくあつたかいし、夏は窓が大きいから風通しも抜群」とご主人も今やRC派。キッチンのパントリーや玄関のシューズクローゼットなど生活動線を考慮した収納提案も大満足していると話します。

日常に必要なすべてのものが収まるキッチンのバックヤード

キッチンの背後に大きな扉を開けると、そこは約6mもある大容量のパントリー。壁面に取り付けた棚には大型のキッチン家電から食器類、調味料や食材、日用雑貨のストックなど、普段の生活が必要になるあらゆるものが収まっています。いわば黒澤家のキッチンのバックヤード的スペース。ウォークインスタイルで、ちょっとした作業もこなせるゆとりはうらやましいばかり。

「オープンシェルフだから、どこに何があるか一目瞭然のがとても便利。ものを探すのも、片づけるのもストレスなくできます。来客時などは、扉を閉めてしまえば生活感のあるものを完全に隠しできるのもうれしいですね」と奥さま。なんと片側の扉の奥には大型冷蔵庫まで隠されているのには驚かされます。



リビングの1面だけはコンクリート打ち放しの壁をアクセントとして残す。テレビまわりに集約した大容量収納は造作で



玄関にはウォークイン・シューズクローゼットを設置。2人の靴はもちろん、脚立や自転車などもしまえるのが便利



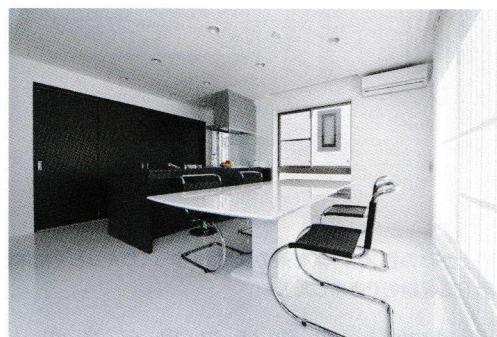
吹き抜けの玄関ホールではシンプルな空間に合わせ、階段のデザインも蹴込み板のないストリップ階段に

物件DATA

敷地面積	210.01m ² (63.52坪)
延床面積	144.34m ² (43.66坪)
1階	79.48m ² (24.04坪)
2階	64.86m ² (19.62坪)
工法	壁式鉄筋コンクリート造
竣工年月	2012年8月
家族構成	夫婦



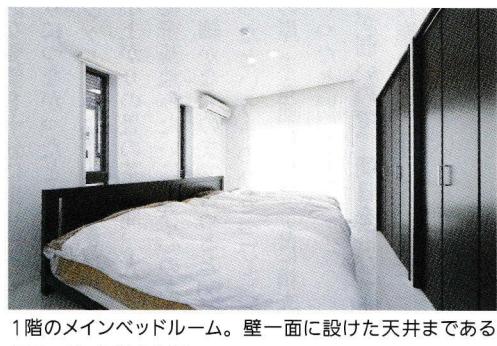
ブラウンとホワイトでまとめたお洒落な洗面室は床暖房完備。スクエアタイプの洗面ボウルでシンプルに



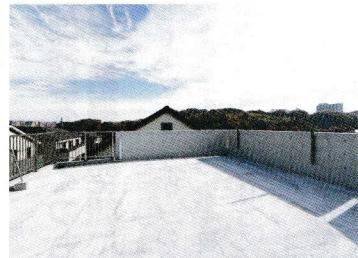
キッチンの背後の大きな扉を開めると、パントリーや冷蔵庫は完全にシャットアウト。急な来客時にも安心のデザインに



ベランダから屋上を結ぶのはスタイリッシュなメタルの螺旋階段



1階のメインベッドルーム。壁一面に設けた天井まであるクローゼットは大容量



RCならではの魅力のひとつが屋上の活用。周囲に邪魔されない抜群の眺望が楽しめ、将来の利用方法に夢が広がる

お問い合わせ先

詳しい会社内容は
P.96をご覧ください。

株式会社カツキ